

# 芝川商工会 会員の皆様

## 小規模事業者持続化補助金

を活用してみませんか？

小規模事業者が、商工会と一体となって、**販路開拓に  
取り組む費用の2/3を補助**します。

補助上限額：**50万円**

- ・75万円以上の補助対象経費に対して、50万円を補助します。
- ・75万円未満の補助対象経費に対して、2/3を補助します。



**雇用を増加させる取り組み・買い物弱者対策の取り組み・  
海外展開の取り組み**については、150万円の経費に対し  
て、その2/3の**100万円**を補助上限とします。

**複数の小規模事業者が連携して取り組む共同事業**も応募可  
能です。その際には、**補助上限額が100万円～500万  
円**となります。（連携する小規模事業者数によります）

新規顧客獲得・集客力向上のため、こんなことに使えます！

チラシ・Webサイトでの広告

新商品の開発

新機械装置等の購入（単価50万円未満）

古い商品パッケージデザインを一新

販路開拓とあわせて行う業務効率化

レイアウト変更・店舗改装

商談会・見本市への出展

他にも使い方  
いろいろ！



対象となる  
事業者

会社および個人事業主であり、常時使用する従業員の数が一定以下の商工業者。



卸売業、小売業、サービス業（宿泊業・娯楽業以外）

5人以下

サービス業のうち宿泊業・娯楽業、製造業その他

20人以下

- ・補助金の採否については事業の有効性などの観点から審査があります。
- ・申請の際は、最寄りの商工会による事業支援計画書が必要となります。

まずは商工会にご相談下さい。

受付締切：平成28年5月13日(金)

<事業実施期間 交付決定日～平成28年12月31日(土)>

問い合わせ先 芝川商工会

☎0544-65-0273

裏面で活用事例  
をご紹介します



# 小規模事業者持続化補助金の活用事例

## 住宅建築業の事例

### お客の疑問に答える広報ツールの制作

中部地方の木造住宅メーカーA社は、「国産の無垢材の家」を提供し、地元で建築技術の高さを評価されながら、大手ハウスメーカーとの競争が厳しくなり、受注の減少に悩んでいました。社長は、あえて工期やコストがかかる伝統工法の木造住宅に特化し、新たなパネル工法を開発して短納期・低価格の木造住宅建築を実現しました。

しかしいざ営業を行おうとすると、社長は問合せや資料請求に対応するための「資料」が無い事に気づきました。そこで**独自のパンフレットを作成**する事を決め、小規模事業者持続化補助金の採択を受けました。

独自工法や無垢材の良さを伝えるだけでなく、家造りに対するこだわりも随所に盛り込み、自身も生粋の大工である社長の熱い思いが伝わる資料兼広報ツールが完成しました。



## 美容院の事例

### 高齢客にもやさしいお店の実現

首都圏で約60年前から続く美容室B店の店主は、店内の椅子の老朽化が気になっていました。B店主は、「高齢者の方が座っていても疲れない椅子を用意し、高齢者にもやさしい美容室にしたい」と考え、商工会のサポートを受けながら経営計画書づくりを始めました。計画を実現するため小規模事業者持続化補助金を活用して、1台でカットからシャンプーまで行える**カットチェアと、シャンプー用チェア2台を購入し、併せて看板とチラシなどを作成**しました。

新しい椅子は長時間座っても腰に負担が少ない新型で、高齢のお客だけでなく妊婦のお客からも好評を得る事が出来ました。この取組みによって、新規客は毎月10名くらい増え、総売上は15%アップしました。店主は、補助金を活用できた事と共に、経営計画書の作成が将来の売上目標の設定や、目標実現の方法を考える良い機会になったと振り返っています。



この他、皆様の業種で参考になる事例をお知りになりたい方は、芝川商工会までお問い合わせ下さい。

芝川商工会 0544-65-0273

URL : <http://shibasyo.com/wordpress/>